

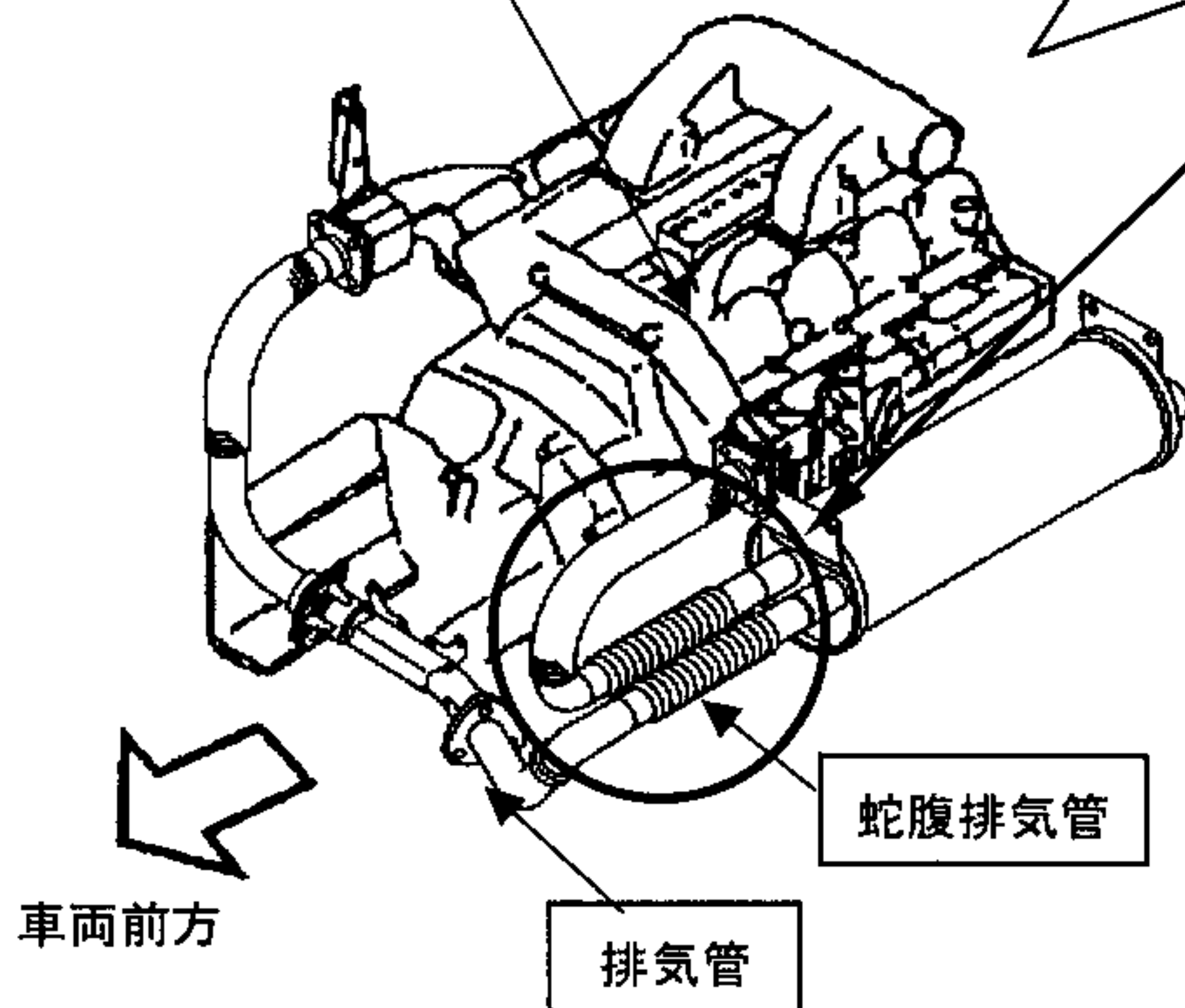
改善箇所説明図



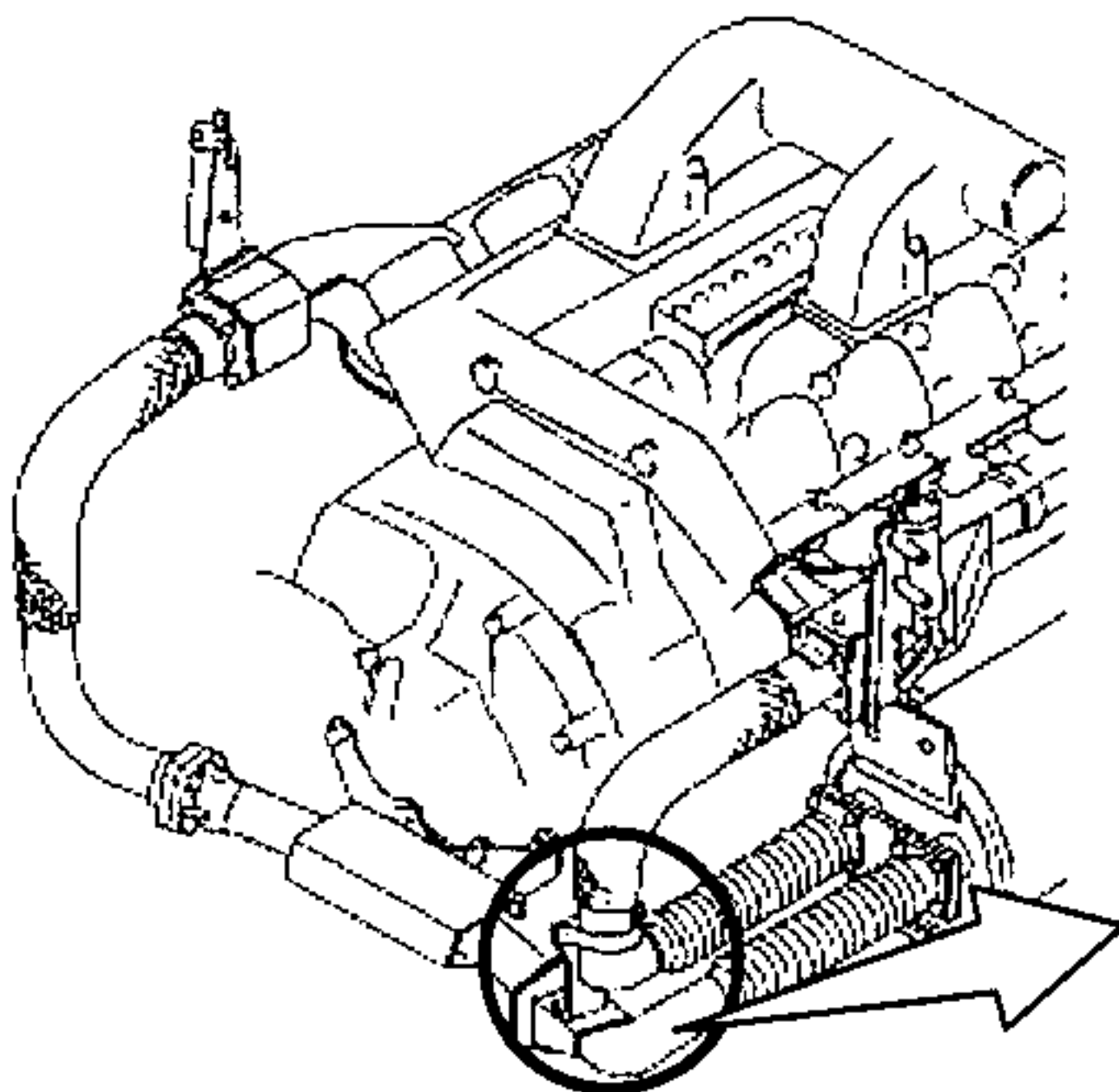
エンジン

基準不適合箇所

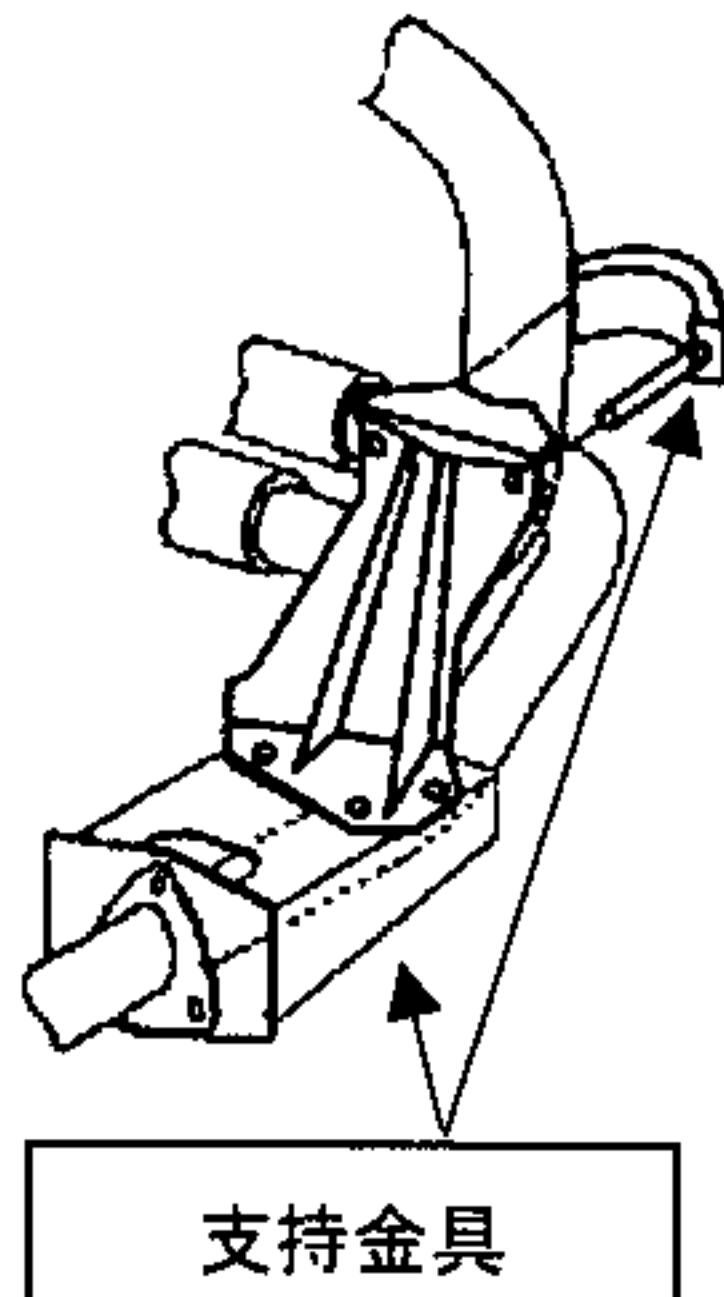
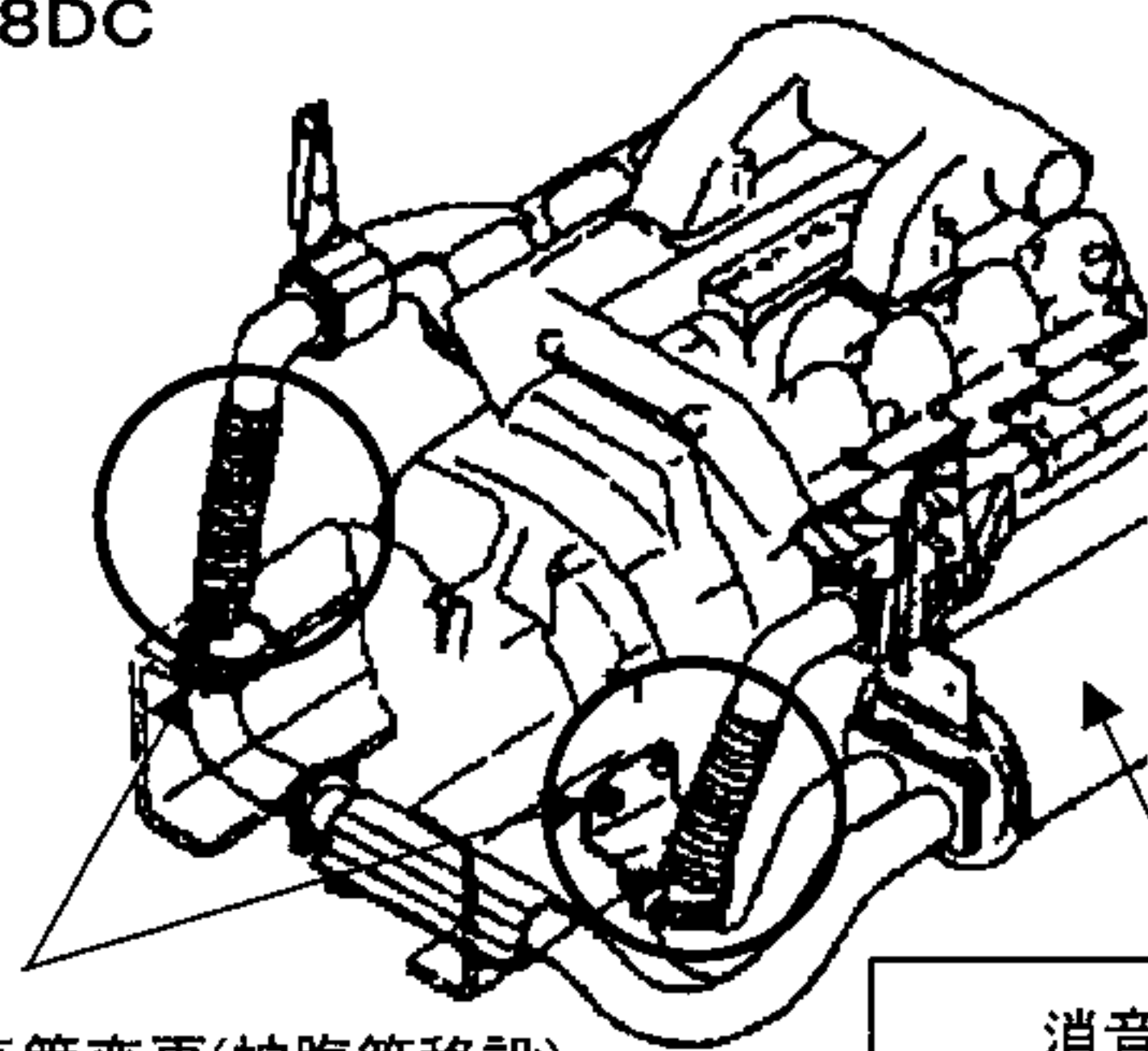
排気管の固定方法が不適切なため、エンジンの振動により排気管に亀裂が発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、騒音レベルが規制値を超える、または排気ガスの熱により周囲の電気配線の被覆が溶損し、電気配線がショートして、最悪の場合、エンジンが再始動できなくなるおそれがある。



8M2



8DC



排気管変更(蛇腹管移設)

消音器

改善の内容

エンジンの型式により次の対策を行なう。

① 8M2型エンジン：排気管を対策品と交換し、排気管を固定する支持金具を追加する。

② 8DC型エンジン：排気管及び消音器を対策品と交換する。

なお対策品の全数供給に時間を要するため、当面の暫定措置として、当該排気管の亀裂有無をチェックし、異常のあるものは対策品と交換する。異常がないものは後日対策品と交換する。

注：□は、交換及び追加部品を示します。

識別：作業完了車には、左後部エンジン点検リッド裏上方の見やすい位置に「HB-08」の文字が記載されたシールを貼付ける。 暫定対策：青色 恒久対策：白黄色